

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

平成28年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第2回講義

科学技術政策の現状と課題

文部科学省大臣官房審議官(高等教育局担当)

松尾 泰樹 氏

松尾先生からのメッセージ

東日本大震災から5年。また、最近の数々の研究不正問題により、科学者・技術者、更には科学技術に対する信頼が揺らいでいます。

しかし、ICTの進化等により、社会・経済の構造が日々大きく変化する「大変革時代」が到来し、国内外の課題が増大、複雑化する中で科学技術イノベーション推進の必要性は一層増大しています。このため、持続的な成長と地域社会の自律的発展、国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現、地球規模課題への対応と世界の発展への貢献、知の資産の持続的創出に向け、我が国では第5期科学技術基本計画が策定されたところです。

第2回目の講義では、現在の我が国の科学技術状況、その中核を担う大学のあり方を検証し、若手の研究者が生き活きと研究し、様々な場で活躍出来る環境を如何に構築するのか？ 如何に信頼ある科学を取り戻すのか？

皆さんがその活躍の担い手になることを期待し、皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

日時：

2016年4月15日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院

オープンホール

[B-201]

松尾 泰樹 先生

青森県出身、昭和62年東京大学大学院理学系研究科物理学専門課程修了。

科学技術庁入庁、外務省経済局、在中国日本国大使館、文部科学省ライフサイエンス課、理化学研究所、文部科学省学生・留学生課、人材政策課等の勤務を経験され、現在は大臣官房で科学技術政策全体を俯瞰する立場で行政に従事されています。

担当：工学系教育研究センター 渡邊康正教授
内線：6908 Mail：ceed-int@eng.hokudai.ac.jp